

2020年3月2日

各 位

株式会社大和証券グループ本社  
大和フード&アグリ株式会社

## 山形県川西町におけるトマト生産ビジネスへの参入について

株式会社大和証券グループ本社(以下「当社」)の100%子会社である大和フード&アグリ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:越智 研至、以下「DFA」)は、山形県川西町においてトマトの生産を行う株式会社平洲農園(本社:山形県東置賜郡川西町、代表取締役社長:東 宣雄、以下「平洲農園」)に資本参加し、カゴメ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:山口 聡、以下「カゴメ」)との連携のもと、トマト生産ビジネス(以下「本ビジネス」)に参入いたしましたことをお知らせいたします。

### 1. 本ビジネス参入の背景

大和証券グループは、2018年度からスタートした新中期経営計画「“Passion for the Best” 2020」において、伝統的な証券ビジネスを核としながら、外部ネットワーク、周辺ビジネスの拡大・強化によるハイブリッド型総合証券グループとしての「新たな価値」の創出を目指しており、DFAは、このグループ戦略の一環として2018年11月に設立されました。DFAは、2019年4月より熊本県菊池郡においてベビーリーフ栽培に供する設備を取得し、現地パートナー企業との協働によりベビーリーフ生産ビジネスに参入いたしました。農業・食料分野にリスク性資金を供給することで、農業の産業化への貢献を目指したものであります。

平洲農園は、低コスト耐候性ハウス(2.2ha)を用いてトマトを生産、出荷することを目指し、2015年9月に設立されました。この度、DFAは平洲農園への資本参加を通じて経営に参画し、国内で有数のトマト栽培ノウハウを有するカゴメとの連携のもと、夏から初冬にかけてトマトを生産するビジネスに新たに参入いたしました。DFAは、大規模かつ効率化を追求した農業生産法人の経営に参画することで、日本国が解決に向けて取り組むべき社会課題の一つである農業の活性化に貢献してまいります。

大和証券グループでは、この取り組みは、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)における「産業と技術革新の基盤をつくろう」に資するものと考えております。



(写真) 平洲農園が有する低コスト耐候性ハウス、トマト栽培の様子

## 2. 関係当事会社の概要

### ① 大和フード&アグリ株式会社の概要

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 商号    | 大和フード&アグリ株式会社              |
| 本社所在地 | 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号          |
| 代表者   | 代表取締役社長 越智 研至              |
| 設立    | 2018年11月1日                 |
| 事業内容  | 農業やそれに付随するビジネスに関する投資、運営、管理 |

### ② 株式会社平洲農園の概要

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 商号    | 株式会社平洲農園                |
| 本社所在地 | 山形県東置賜郡川西町大字尾長島844      |
| 代表者   | 代表取締役社長 東 宣雄            |
| 設立    | 2015年9月3日               |
| 事業内容  | 低コスト耐候性ハウスを用いたトマトの栽培・販売 |

## 3. 今後の見通し

本ビジネスへの参入による、当社の2020年3月期の業績等に与える影響は軽微であります。

以 上